

# 地域資源「海の葉っぱ」を活用した漁村地域の活性化事業

## 概要

当市の海に面した集落は漁業を主産業とする漁村で、漁業の低迷により漁業後継者が減少し、若年層の都市部への流出が常態化している。そのため、伊勢志摩地域の海藻を代表するヒジキの養殖化と共に、海藻「海の葉っぱ」を活用した、新商品づくりやPRなどの産業振興に取り組み、漁村地域の活性化を図るものである。

三重県鳥羽市

## ヒジキ養殖普及



## 事業の内容

### 事業の内容

- 伊勢志摩地域を代表する海藻であるヒジキの養殖化
- 漁業者への新規養殖技術の普及定着
- 鳥羽を代表する海藻の情報発信用、リーフレット・パネル作成
- 地域団体による、海藻を活用した特産品づくりとPR

### 総事業費

9.6百万円

### ポイント

- 国内でも事例の少ないヒジキの養殖定着化に取り組み、漁業生産の多角化、ヒジキ生産量の向上を図る。
- 海藻産地としての情報発信や特産品開発などに取り組み地域資源を活用した漁村地域の産業振興を図る。

## 海藻による地域活性化



## 事業の成果

- 新規養殖技術の普及により、漁業者の関心度が向上し、新規養殖への取組みに意欲的に参加していただいている漁業者が増えた。今後も養殖化試験に取り組み、多くの漁業者が取り組めるよう、さらなる生産リスク軽減や養殖作業の省力化を図りたい。
- 地域団体による特産品づくりにより、地域で利用されていなかった海藻等の利用が促進され、地域の活性化に繋がった。また、同じ目的で活動する団体が集まることにより、情報交換や連携を図ることができた。今後、さらなる商品開発や販売の支援をおこなっていききたい。

